

診療情報及び診療時に採取・保管された検体を用いた研究に関するお知らせ

愛知県がんセンター

愛知県がんセンターでの診療情報および診療時に採取・保管された検体を下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究代表者	今岡 大
2. 研究課題名	膵腺房細胞癌の背景と切除不能・切除症例に対する化学療法に関する多施設後向き研究
3. 研究の概要	<p>膵腺房細胞癌は膵臓の上皮系腫瘍の一種であり、その発生頻度は膵腫瘍全体の0.2～1.0%程度と稀である。このために切除不能・再発膵腺房細胞癌に対する化学療法の標準治療は確立しておらず、浸潤性膵管癌もしくは大腸癌に準じた治療選択が行われることが多い。そこで将来的に膵腺房細胞癌を対象とした前向き研究の実施を念頭に置き、本邦における本疾患に対する化学療法の実施状況を把握することを目的として本研究を計画した。</p> <p>本研究においては膵腺房細胞癌であることが確認されている症例を対象として、多施設で後向きにデータ収集を行い、患者背景因子のほかに、治療ごとの奏効割合、病勢制御割合、無増悪生存期間、全生存期間などを調査項目として、探索的に解析を行う。</p> <p>研究期間:平成 年 月から平成 年 月 日 (遺伝子解析: 行う 行わない)</p>
4. 使用する診療情報	<p>診療情報内容(カルテ)</p> <p>対象収集期間 平成25年11月11日～平成26年11月10日</p>
5. 使用する検体	<p>検体名(なし)</p> <p>検体採取時期 平成 年 月 日～平成 年 月 日</p>
6. 病名	膵腺房細胞癌

この研究の科学的妥当性と倫理性は、当院の倫理審査委員会、遺伝子解析研究倫理審査委員会などにおいて厳重に審査され、承認されています。

個人情報の安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。

また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。

具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

お問い合わせ

愛知県がんセンター経営戦略室 企画・経営グループ

主査 坂 弦二郎

住所 : 〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号

FAX : (052-764-2963)

e-mail: genjirou_ban@pref.aichi.lq.jp

(お問い合わせは、FAX、e-mail 又は郵送でお願いいたします。)